

論点④ 中山間地域等における適切なケアマネジメント提供体制の確保

論点④

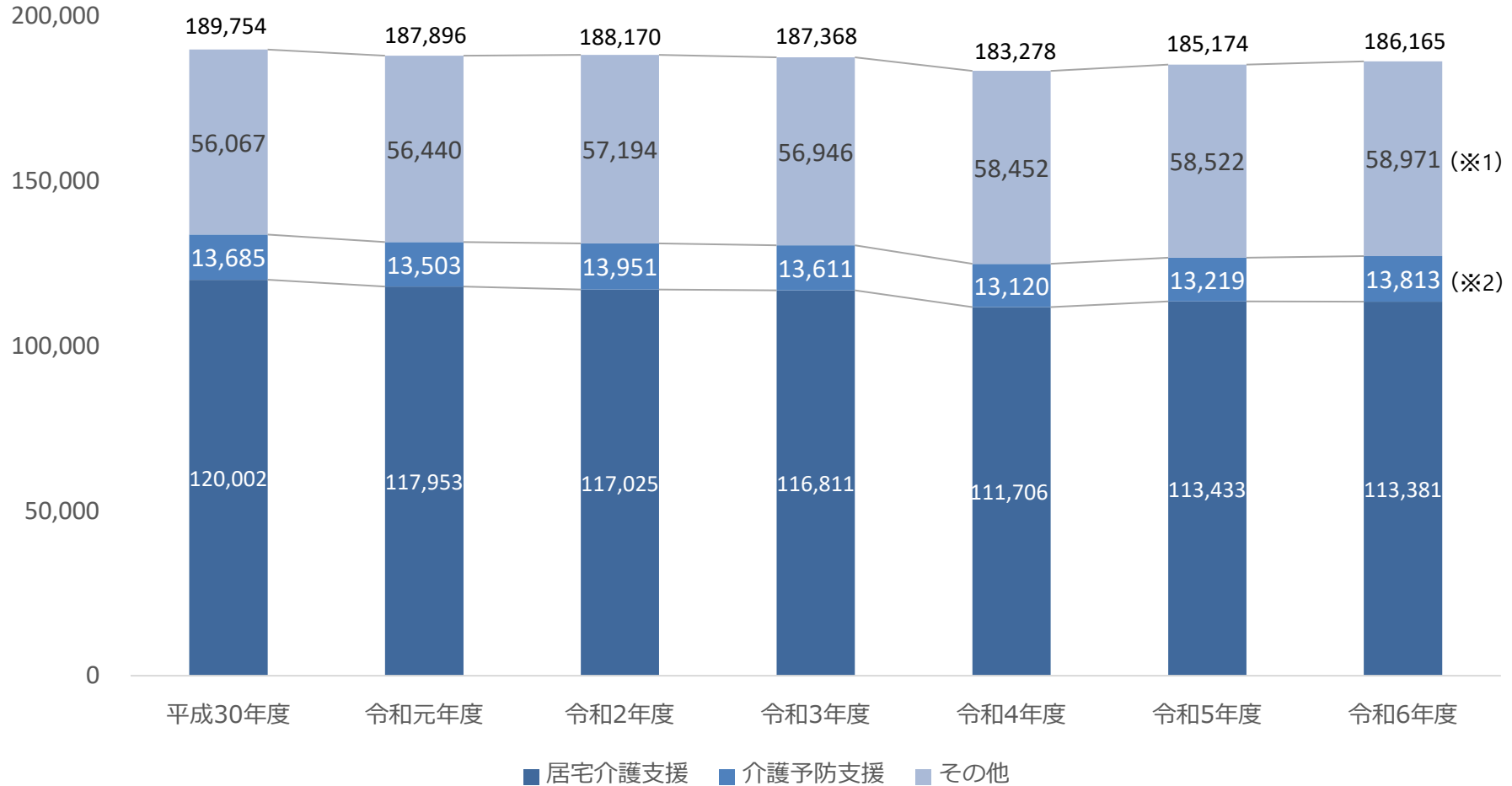
- 今後、介護サービスの利用者が増加するとともに、高齢者の抱える課題が複雑化、複合化する一方で、ケアマネジャーの従事者数は横ばい傾向にあるなどケアマネジャーの人材確保が喫緊の課題となっている。
- 特に、中山間・人口減少地域においては、高齢者人口が減少し、サービス需要が減少すると同時に、担い手の不足が他の地域と比較しても更に深刻な状況になると見込まれている。
- 中山間地域等を含め、それぞれの地域の状況に応じて、適切なケアマネジメント提供体制を確保していくため、どのような方策が考えられるか。

⇒ 人口減少・サービス需要の変化に応じたサービス提供体制の構築に関する介護給付費分科会において説明及び議論を実施予定

介護支援専門員の従事者数（実数）の推移

社保審－介護給付費分科会	資料 6
第259回（R 8. 6 .29）	

（単位：人）



（※ 1）特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及び介護医療院

（※ 2）令和 6 年度より居宅介護支援事業所が介護予防支援の指定を受けられることになったため、居宅介護支援との重複は排除して推計している。

【出典】介護サービス施設・事業所調査より老健局認知症施策・地域介護推進課作成（各年度10月 1 日時点）